

シン学校プロジェクト 一宮市立南部中学校基本計画（案）概要

【シン学校プロジェクトの概要と南部中の選定理由】

シン学校プロジェクトは、少子化が進み児童生徒数が減少する中で、単に古くなった校舎を順番に建て替えていくのではなく、新しい時代にふさわしい学校の在り方について、市民・地域の皆さまからご意見をいただいて、一緒に考えていこうというものです。

2024(令和6)年4月から第1期プロジェクト(前期、後期)の候補となる学校の提案を募集し、南部中学校については、築年数の古い南舎を建て替えたいとの要望と、図書館を地域開放とする、また「浅野いこの広場」の機能を入れるなどの提案を受け、2024(令和6)年7月の総合教育会議において、前期の対象校に決定しました。

(1) 整備のコンセプト

ワークショップで提示した整備のコンセプトを以下に示します。

みんなの「こたつ」…こたつみたいなシン南部中

いつでもどこでも
自由に学ぶ

ほっと一息
安心できる

地域とつながる

①個々に応じた指導、主体的に楽しく学習できる学校

②オンライン授業、ICT活用で様々な学びが可能な学校

③図書室・自習室で放課後も学習できる学校

①子どもにとって心地よい学校、リラックスできる施設、空間がある学校

②いつも見守ってくれる安心・安全な学校

③清潔で施設の整った快適な学校

①子どもたちの学ぶ姿が見える学校

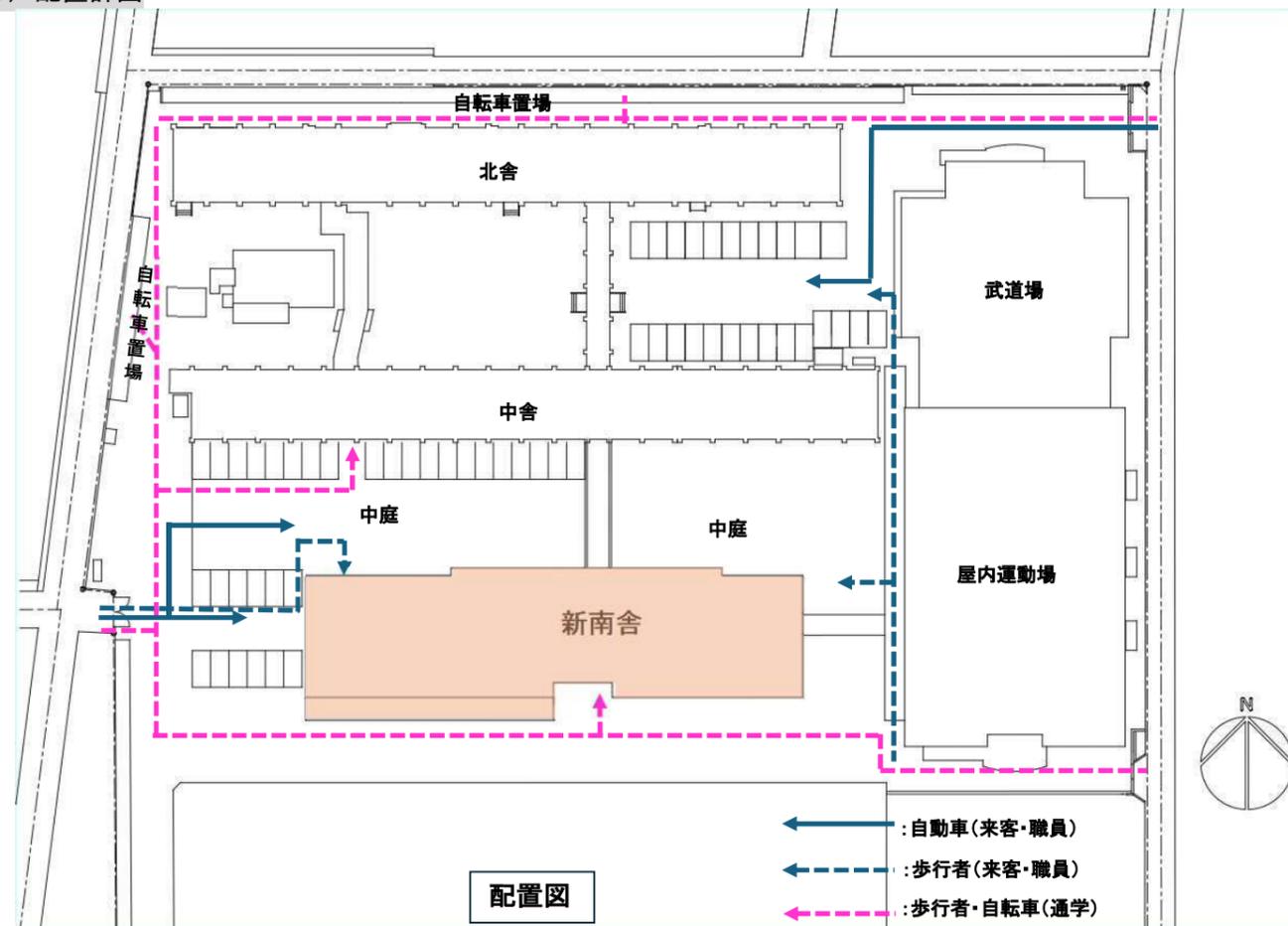
②生徒同士、地域間の交流ができるコミュニティとしての学校

③地域に開かれた施設のある学校、地域ぐるみでの活動拠点となる学校

「みんなのこたつ」・・・こたつは誰にもなじみのある暖房器具です。こたつは椅子のあるテーブルとは違い、譲り合えば何人でも入れて、等しくぬくもりを与えてくれます。ほっと安心できるし、自由に勉強もできます。近い距離感から会話も弾み自然と交流（つながり）も生まれます。

左記に掲げた【いつでもどこでも自由に学ぶ】【ほっと一息安心できる】【地域とつながる】を全てかなえるシン南部中学校は、みんなにとってこたつのような存在の学校となるよう整備します。

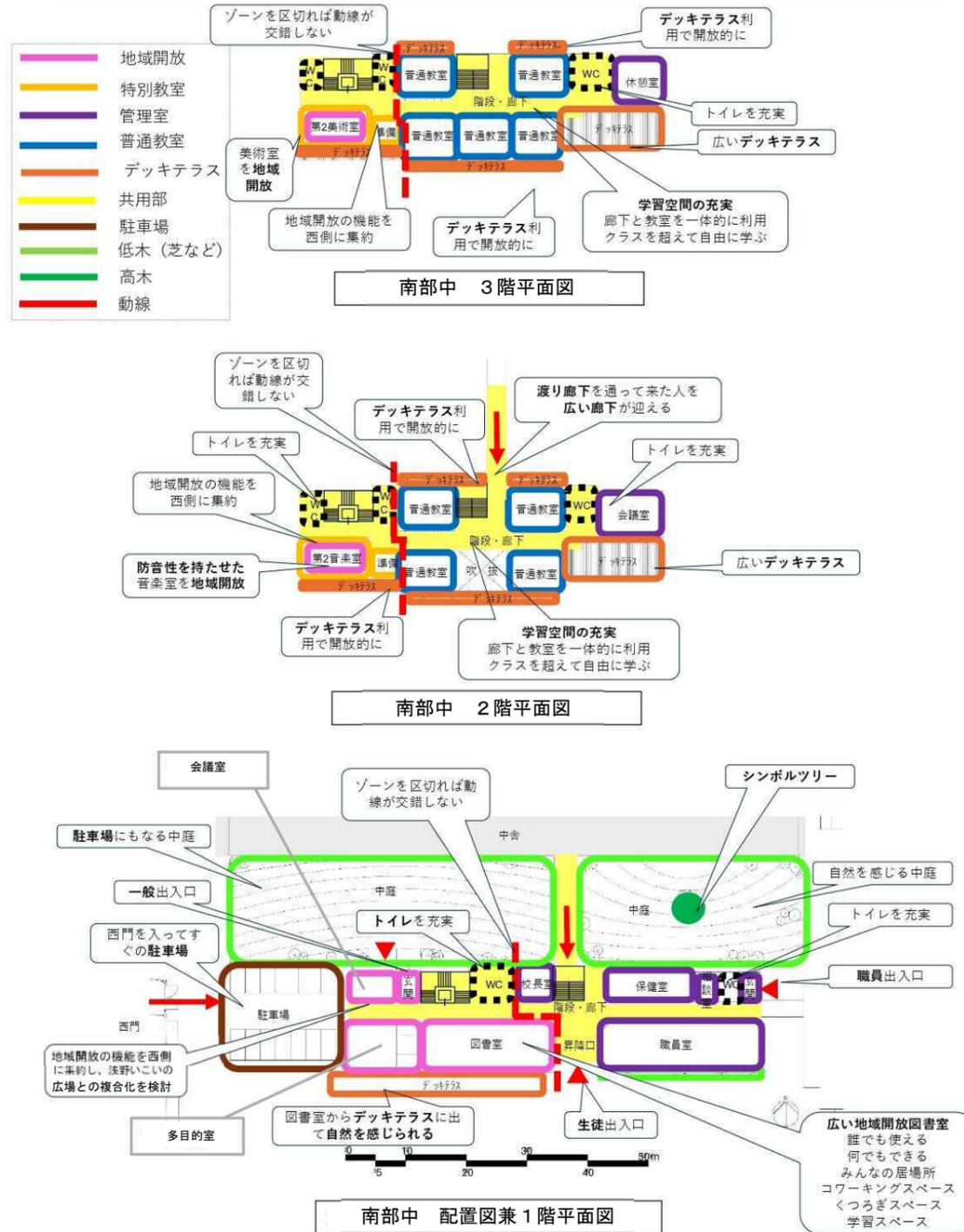
(2) 配置計画



(3) 整備方針

地域の方からの提案は、①地域住民も利用できる図書室の整備と②「浅野いこの広場」の機能を入れる、という内容でした。今回の計画案では広い図書室を1階に設けており、地域住民の方も利用できる地域開放型図書館とし、誰もが思い思いに過ごせるよう整備しています。

(4) 機能プラン (案)



(5) 事業スケジュール

まずは、より有利な財政支援を受けられるように複合化の検討を行います。その後、事業手法を検討し、基本設計、実施設計のプロセスを経て建設工事へ進めていきます。

項目	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目
事業スケジュール	事業手法の検討	基本設計	実施設計	既設校舎解体	新校舎建設	供用開始	仮設校舎解体

(6) 概算事業費

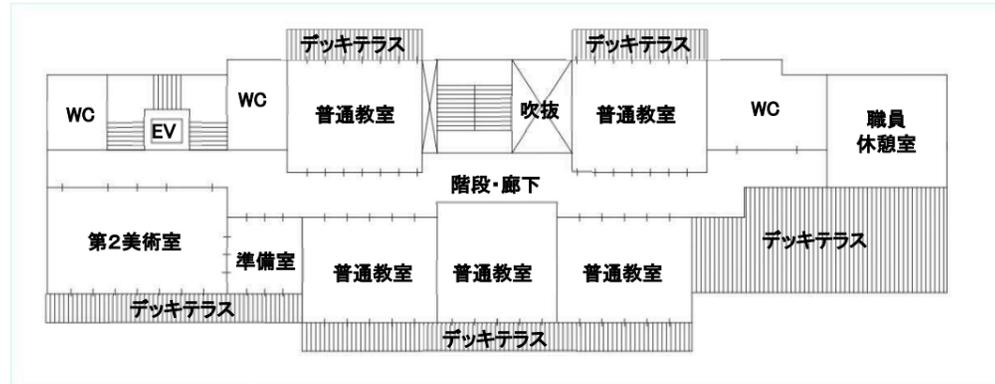
本基本計画においては、配置図および平面図をベースに概算事業費を算定し、その概算事業費は約28.8億円を想定しています。

内訳は、設計費等におよそ2億円、既設校舎の解体におよそ6.7億円、仮設校舎におよそ4.1億円、新校舎建設におよそ16億円となっています。

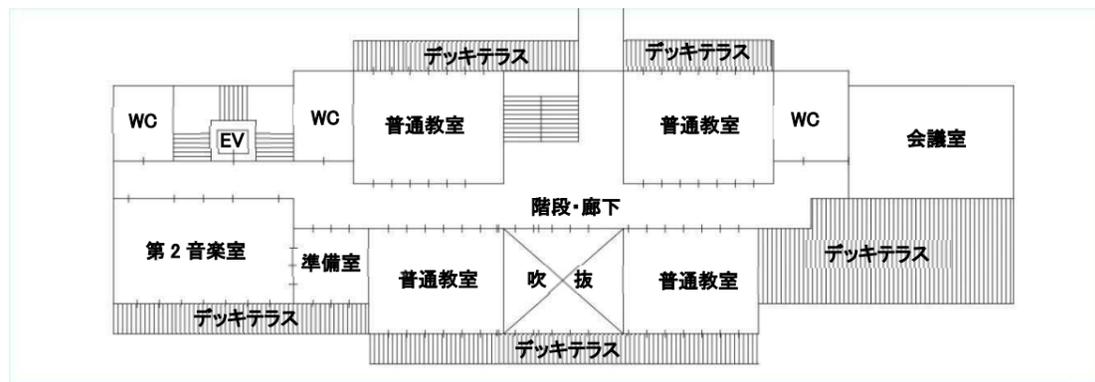
(7) 今後の流れ

シン学校プロジェクトを開始した2023(令和5)年度に比べ物価が高騰していることを踏まえ、補助金を活用し、より有利な財政支援を受けるため、単なる校舎の建て替えではなく、他の公共施設との複合化の検討を行います。具体的には、地域から提案のあった「浅野いこいの広場」の機能を入れること等、複合化のために各部署との調整を行い、調整が整い次第、事業スケジュールを進めていきます。また、その結果基本計画に盛り込んだ地域の皆さま方のご意見を修正する必要が生じた際には、改めて修正案をお示しします。

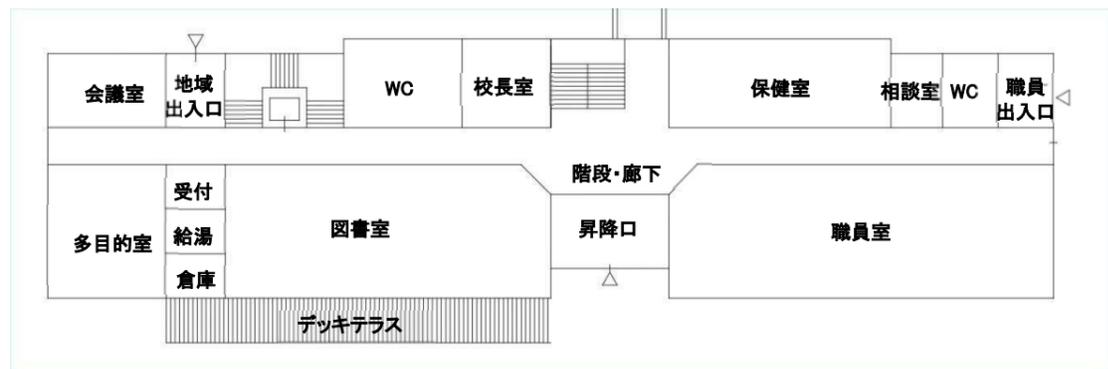
(8)イメージ図



3階イメージ図(案)



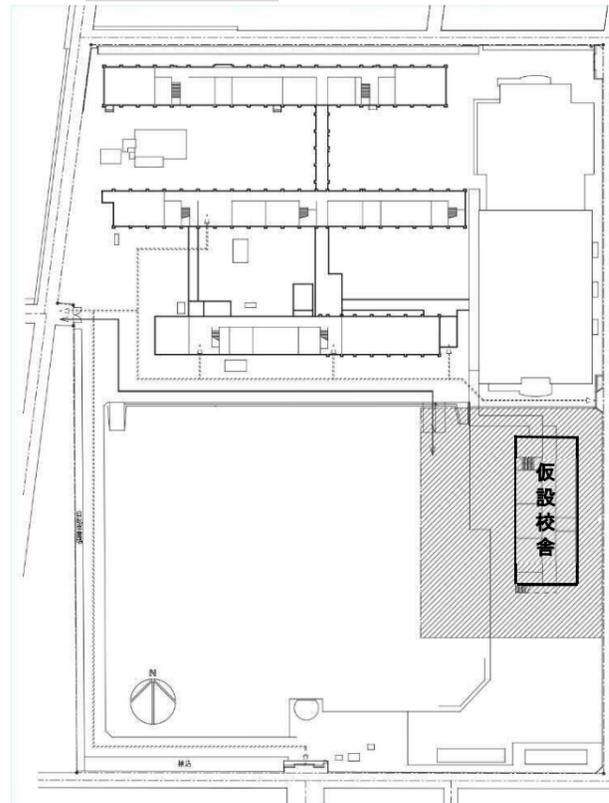
2階イメージ図(案)



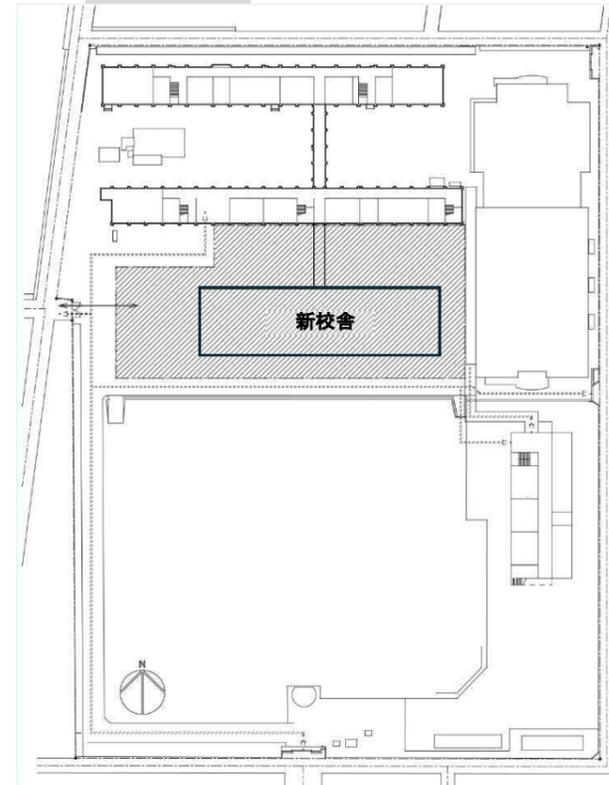
1階イメージ図(案)

(9)施設建替え計画

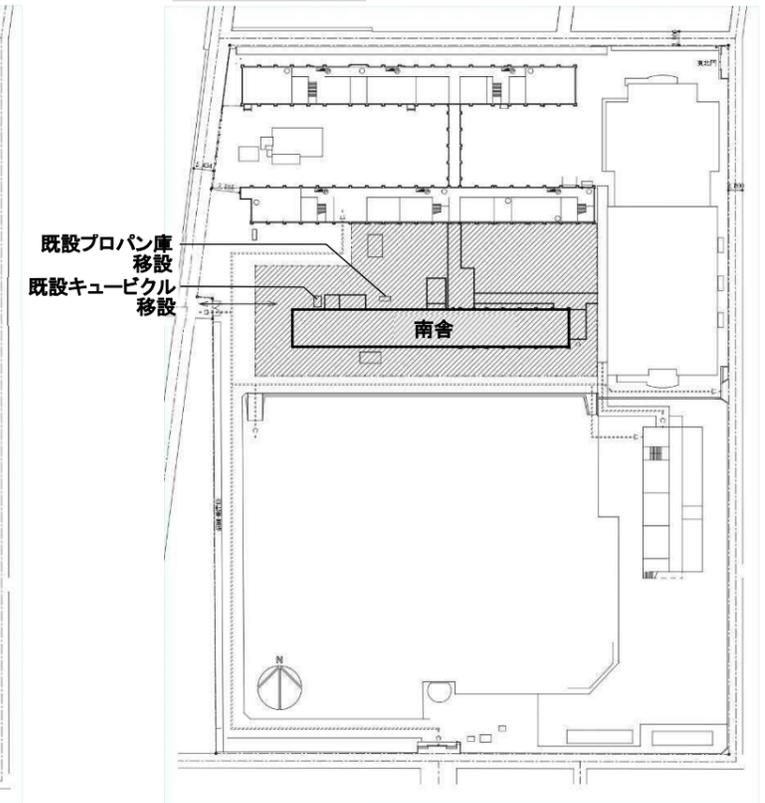
1. 仮設校舎建設



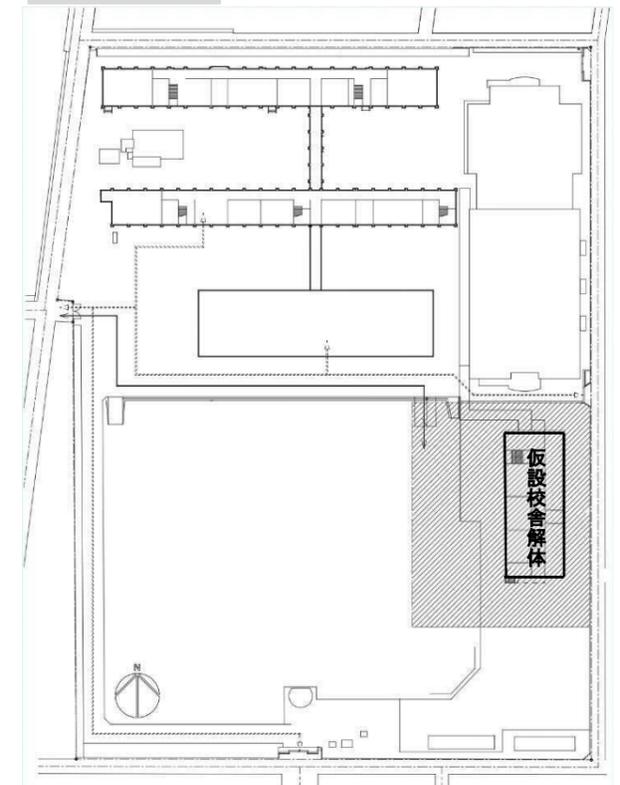
3. 新校舎建設



2. 既設校舎解体



4. 仮設校舎解体



※基本設計および実施設計の段階で内容が変更される場合があります。